

# 介護保険下の医療

## 主治医意見書を問い直す

### 第15回 心肺機能

宮城県仙台市・仙台往診クリニック院長

川島孝一郎

#### 心機能と肺機能は密接な関連 重度障害ほど両者の性質が出現

心機能と肺機能は密接な関連を持っており、相互に影響し合うものなので、重度障害であるほど両者の性質が同時に出現してくる傾向にある。医師は臓器機能に注目しがちであるため、心機能や肺機能の詳細な説明を行いたがるが、主治医意見書は、在宅における本人および介護者の生活動作、活動範囲、疲労度など、生活者の生活全般に対する支援を目的としているので、それに合わせた記載を要求されている点に注意してほしい。

記載の際に一つの指標となるのが、身体障害者診断書における「活動能力の程度」の分類である。表1は心臓機能障害診断書、表2は呼吸機能障害診断書における分類である。主治医意見書作成にあたっては、まずこのいずれに該当するかを吟味し、本人についての記載事項を完成させる。次に介護者の状況と介護限界についての記載を行い、最後に生活者全体に対する支援についても言及することが望ましい。

上記を考慮しながら、(1) 主として心機能障害を持つもの、(2) 主として呼吸障害を持つものについて説明を行う。さらに心肺機能障害は本人の生命に

表1 活動能力の程度（心臓の機能障害）

- |   |
|---|
| <p>ア. 家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活活動については支障がなく、それ以上の活動でも著しく制限されることがないもの、又はこれらの活動では心不全症状若しくは狭心症症状がおこらないもの。</p> <p>イ. 家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活には支障がないが、それ以上の活動は著しく制限されるもの、又は頻回に頻脈発作を繰り返し、日常生活若しくは社会生活に妨げとなるもの。</p> <p>ウ. 家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状又は狭心症症状がおこるもの。</p> <p>エ. 家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状又は狭心症症状がおこるもの、又は頻回に頻脈発作を起こし、救急医療を繰り返し必要としているもの。</p> |
|---|

表2 活動能力の程度（呼吸器の機能障害）

- |   |
|---|
| <p>ア. 階段を人並みの速さでのぼれないが、ゆっくりならのぼれる。</p> <p>イ. 階段をゆっくりでものぼれないが、途中休みながらのぼれる。</p> <p>ウ. 人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。</p> <p>エ. ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。</p> <p>オ. 息苦しくて身のまわりのこともできない。</p> |
|---|

直結するものであるため、(3) 命にかかわる急変時における対処と危機管理についても述べることとする。

## 在宅医療の対象は身障1、3級程度 急変時における対応の取り決めは必須

### (1) 主として心機能障害を持つもの

活動能力の程度の評価で最重度となる、「安静時もしくは自己身の日常生活活動でも心不全症状で、もしくは狭心症症状がおこるもの。または繰り返してアダムストークス発作がおこるもの」(身体障害1級程度)と、次に位置する「家庭内での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状もしくは狭心症症状がおこるもの。または頻回に頻脈発作をおこし、救急医療を繰り返す必要としているもの」(身体障害3級程度)が主として在宅医療の対象となる。

日常生活の範囲は、たとえば脳梗塞のために完全麻痺、常時臥床状態の患者の場合に比べ、一見軽いように見える。しかし頻繁な発作があるために、本人の苦痛や家族の不安が多発するということが、連続した生活の流れを常に遮断してしまうという、生活リズムと均衡が著しく阻害される点が正当に評価されなければならない。

したがって、「傷病に関する意見」の(2)は不安定という記載になることも十分にありうる。(4)は上記にしたがい症状の強さ、介護者の対処状況など具体例を挙げる必要がある。

「日常生活の自立度等について」および「身体状況」の項では、発作が起こらないように、いかに生活動作に注意しているかが重要である。特に老人の場合は無理に健康そうに見せようとする傾向があるため、主治医、ケアマネジャーなど、直接評価に携わる人が、実は断片的にしか状態を把握していない場合があり、眼に見える麻痺、筋力低下がなくても、安静状態を保つこと自体が生活性を阻害していることや、連続性の寸断が日常化していることに着目して記載しなければならない。

「介護に関する意見」では、一旦発作が起こると、介護者、訪問看護婦、ヘルパー、入浴サービスの職員、ボランティアなど、その場に居合わせた人たちまでがパニックに陥ることも十分に考えられるため、注意点として細かく記載することが必要である。狭心症発作時のスプレーの使用回数なども全員が熟知していることが求められる。

生活を妨げず、しかし発作等が起こらないような微妙な指示が必要となるので、各事業所への指示書の記載には工夫が必要である。

最後の「その他特記すべき事項」においては、介護者の疲労度、介護による介護者自身の日常生活の阻害の程度などが正確に伝わるように記載してほしい。望ましい意見書(1)を参考資料として提示する。

### (2) 主として呼吸障害を持つもの

在宅酸素療法と、鼻マスクによる陽圧呼吸療法(NPPV)の進展により、重度の呼吸障害を持つ患者も在宅生活が可能となってきた。ここでは主として表2の最重度である「息苦しくて身のまわりのこともできない」(身体障害1級程度)と、それに次ぐ「ゆっくりでも少し歩くと息切れがする」(身体障害3級程度)が対象となる。これらの対象者は、日常生活動作の多くがその生活自体を阻害する要因となっているために、「動きたくても動けない」という、肉体のみならず精神的なストレスを持っている点も考慮されなければならない。

「症状としての安定性」はしばしば不安定となる。「傷病の経過」は次第に悪化することも多い。「特別な対応」ではモニター測定ではなくても、医師、訪問看護婦双方がサトウオキシメーターを常時携帯し、いつでも測定できるようにしておくことが望ましい。

しばしば長期の低酸素のために、軽度の痴呆、または物忘れがひどいなどの精神症状を併せ持つ場合もある。問題行動は介護者の疲労に直接影響をおよ

ばすことになるので、「心身の状態に関する意見」の各項目は十分にチェックを行うことが必要である。

眼に見える麻痺や筋力低下がなくても、生活動作が極端に阻害されているならば、その旨を「身体の状態」にかならず記載してほしい。

「介護に関する意見」では緊急時の対応を明確に記載し、留意事項の「その他」においては、酸素流量や呼吸器の設定の確認、鼻カニューレ、鼻マスクの装着状況の確認をかならず記載しなければならない。入浴サービス時にしばしば体調が変動し、入浴できない場合がある。生活者が入浴を強く望む場合にはサービスの職員と連携をとり、生活者の意向に近づけるような判断を下すことも必要である。

「その他特記すべき事項」においては、鼻カニューレや鼻マスクの装着に関する本人の意識（物忘れ、問題行動など）によって、本人と介護者との間に葛藤が生じる場合がある。本人の行動によっては常時付き添う必要を生じ、介護者の生活自体が大きく阻害されることもあるので、生活状況に根ざした記載が要求される。望ましい意見書（2）を提示する。

### （3）命にかかわる急変時における対処と危機管理

心機能障害や呼吸障害が重度であればあるほど、医療機器に左右される度合いが高くなるため、機器

の機能設定を細かく指示するとともに、生活者と関与するチーム双方で、急変時における対処をあらかじめ取り決めておくことが必須である。

救急車で病院に入院するのか、あるいは在宅看取りも視野に入れ、あくまで在宅での医療に委ねるのかを選択肢として提示しなければならない。医師はそのどちらにも対応できることが望ましく、もし医師の都合により、選択の余地のない緊急入院のみの対処となる場合には、緊急入院における延命治療のメリットとデメリットを公平に提示し、生活者に納得してもらうことが必要である。

ペースメーカー、酸素濃縮器、人工呼吸器、およびそれらの付属物品のトラブルを想定した、危機対応マニュアルの作成が望ましい。また地震、停電などの機器以外の要因でおこるトラブルに対しても考慮する必要がある。特にNPPVに使用する呼吸器は内部バッテリーがなく、外部バッテリーもほとんど装着されていないのが現状であり、故障時の対応に窮する可能性が高い。医師の危機管理意識の向上が望まれる。

安静時もしくは自己身の日常生活でも、心不全症状もしくは狭心症症状が起こるもの、または繰り返してアダムストークス発作が起こるもの。

Quality of Life の向上のために

## 高齢者ケアのマネジメント論

国立医療・病院管理研究所医療経済研究部部長 小山秀夫 著

ISBN4-905690-31-5

四六判上製本/248ページ/定価 本体2,381円+税

○ご注文はお近くの書店、または下記までお電話、FAX、E-mail、おハガキでお願いいたします。



厚生科学研究所

〒107-0061 東京都港区北青山3-8-3

TEL.03-3400-6070/FAX.03-3400-6017

E-mail : data@kouseikagaku.com

URL http://www.kouseikagaku.com